



私たちがみた楯築ルネッサンス フォーラム2023～古代三都物語Ⅱ～ 参加者の声



倭国統一の中心を担った古代三都(吉備・出雲・大和)。当時の吉備の国の力を裏付ける、全国最大級の「墳丘墓」である楯築遺跡を有する倉敷市。倉敷市市長や岡山市市長はじめとした行政の長や有識者達が、その歴史的意味と未来への役割を倉敷アイビースクエアで語りました。2023年11月25日は、古代衣装をまとった私たち、学生ボランティアが会場へご案内。フォーラム後、参加者の皆さんに突撃インタビューしてみました。

参加者の方へのインタビュー



今日はどちらから？

倉敷市児島から参りました。



今日のフォーラムはどうでしたか？

感動した！宗教や思想などを主に研究していますが、その原点が楯築にあったのではないかと思います。



今日はどちらから？

赤磐市から参りました。



今日のフォーラムはどうでしたか？

全体的に満足しています。古代のことでまだ分からないことは多いですが、面白かったです。



今日のフォーラムについて
知ったきっかけは何ですか？

前回、岡大で開催された
第1回の方にも参加していたので、来ました。



フォーラムに次回も参加
したいと思いますか？

ぜひ、参加させていただきたいです。

次回のフォーラムも、
待ちょーるけーろ

るねひめ
名前：瑠寧姫

好きな物：晴れの日、古墳のぬいぐるみ

苦手な物：雨の日

特徴：岡山弁を話す





光本順 准教授は岡山大学で考古学や歴史学について研究してて、学芸員資格にかかわる授業や指導を担当してるんよ。そして、古墳の調査研究や地域文化財の歴史の解明に学生と取り組んでいるんじゃ。



若者に歴史を知ってもらったり、触れる機会を増やすにはどうすれば？

学生がはじめてこうしたイベント運営にスタッフとして参加するのをきっかけに興味を持ってもらう。この形がいいのではないかと思います。



様々な立場の人が集まるイベントの中で、参加者の方々ともっと密に話し合いたいと思われませんか？

話したいですね。実際の反応であったり、何に興味を持ってもらえるのかが分からないので、そういった機会があれば、ぜひ参加したいです。



今日はどちらから？

倉敷市から参りました。



古墳に興味を持ったきっかけは何ですか？

家の近くで古墳の堀り起こし作業が行なわれていて、たまにま通りかかったからです。



フォーラムに次回も参加したいと思いましたか？

色々知らなかったこともあったので、ぜひ参加したいと思います！



【学生記者コメント】

今回のフォーラムにはいろいろな立場の方々が来てくださいました。パネラーのお一方である光本順准教授(岡山大学文学部考古学研究室)とは、インタビューというより、普通のお話をする形でお話させて頂きました。お話の中で、「学会では同じ学問をする人しか知り合えないため、意外と多様性がないが、こうしたイベントに参加すればたくさんの立場の人と知り合える機会が増えるのが魅力」とおっしゃっていました。私もイベントに参加して、普段あまり接することのできない方々と会話することは有意義であると感じました。突然のインタビューに答えてくださった皆さま、ありがとうございました。

(朝日塾中等教育学校卒・香川大学経済学部1回生：畠中穂華)



古墳ってどんなもの？

・・・調査報告は来月号に！

一編集後記(次回予告)一

次回は、榎築ルネッサンス2日目に行われた「古代吉備路ウォーク」についてお伝えします。

今月号から皆さんの疑問を解決する「瑠寧調査団」のコーナーが始まりました。来月号での調査報告もお楽しみに！ (中園響)

(副編集長：畠中穂華)

(作成協力：サンセムサップ アンポン、井上碧斗、小土井佑太郎)



https://tatetsuki.com/11_25_mp3/ https://tatetsuki.com/11_25_mp3/